

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 50 回 リサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) 議事録

1. 日時 2019 年 8 月 2 日 (金) 14 : 00~18 : 30
2. 場所 原燃輸送株式会社 大会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 浅見 (副主査), 白井 (幹事), 松本 (務), 松岡, 大岩, 入江, 水谷, 清水
山根, 影山, 澤, 亘, 松本 (光), 檜崎 (14 名)
(代理出席委員) なし
(欠席委員) 木倉 (主査), 小佐古 (2 名)
(常時参加者) 石川, 堂守, 本田, 樋口, 下条, 蓬田, 工藤 (7 名)
(欠席常時参加者) 高橋, 村松, 広瀬, 山後 (4 名)
(説明者) 荒牧 (1 名)
(傍聴者) 大塚 (1 名)
4. 配付資料
F4SC50-1 人事について (リサイクル燃料貯蔵分科会)
F4SC50-2 第 49 回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録 (案)
F4SC50-3-1 人事について (専門部会) 【抜粋】
F4SC50-3-2 第 79 回原子燃料サイクル専門部会議事メモ (79-4 関係)
F4SC50-4 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1 の作業進捗状況報告について
F4SC50-5-1 第 49 回分科会コメントに対応してサイクル専門部会資料を修正した箇所
F4SC50-5-2 第 79 回サイクル専門部会版 (2019.05.27) に対する作業会 1 チェックによる修正箇所リスト
F4SC50-5-3 標準改定案作業会 1 チェック版(2019.7.3)への分科会チェックによるコメント対応一覧表(案)
F4SC50-5-4 標準改定案 (第 79 回サイクル専門部会(2019.5.27)版)に対するサイクル専門部会コメント対応一覧表(案)
F4SC50-6 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正前後比較表
F4SC50-7 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準” 改定の中間報告 (案)
F4SC50-8 標準委員会審議の役割, 確認すべき事項等の説明 (案)

参考資料

F4SC50-参考 1 標準委員会 専門部会運営通則他

F4SC50-参考 2 リサイクル燃料貯蔵分科会委員名簿

5. 議事

幹事より、開始時の出席者の確認が行われ、決議に必要な委員総数の 2 / 3 以上の委員数を満足している旨の報告がなされた。

(1) 人事について (分科会)

- F4SC50-1 に基づき、常時参加者登録解除の報告及び常時参加者の登録の承認がなされた。

(2) 前回議事録確認

- 前回議事録 (案) として F4SC50-2 の確認が行われ、コメントなく了承された。

(3) 標準委員会等の活動状況について

- 白井幹事より、F4SC50-3-1 に基づき、原子燃料サイクル専門部会の人事について報告がなされた。
- また、F4SC50-3-2 に基づき、5/27 (月) の第 79 回専門部会での中間報告内容について白井幹事より説明がなされた。

(4) 作業会 1 の活動状況について

- 松本 (務) 委員より、金属キャスク標準の改定作業の進捗状況について、F4SC50-4 に基づき報告がなされた。
- 今回の分科会では、11 回目の技術的審議であり、標準改定案に対する専門部会コメント対応等の確認、及び標準委員会に向けた中間報告説明資料案の審議をする。

(5) 金属キャスク標準の改定提案

①分科会チェック結果、専門部会コメント内容に対する修正案について

- 前回分科会よりコメントを受け専門部会向けに修正した一覧を F4SC50-5-1 に、専門部会資料に対して作業会 1 でチェック・修正した一覧を F4SC50-5-2 に、同じく分科会委員でチェック・修正した一覧を F4SC50-5-3 に、専門部会委員のコメント対応一覧を F4SC50-5-4 にそれぞれまとめ、F4SC50-6 の新旧対比表とともに、松本委員及び作業会 1 各委員より、説明がなされた。
- 審議の結果、本日のコメントを踏まえ一部表現等を見直すとともに、修正内容については、主査一任 (代理である副主査) とし、次回専門部会に改定提案することが確認

された。(部会前までに、分科会委員には通信ベースで確認する)

● 主な意見は以下のとおり。

a) 専門部会委員チェック修正

- ・ No.9 (本文前半) 「一般の試験条件」, 「特別の試験条件」の英語表記については、専門家に確認すること。
- ・ コメント拝承の項目についても、修正案の欄を空欄ではなく具体的な修正内容を記載すること。
- ・ 部会への説明には資料 F4SC50-5-2 及び F4SC50-5-3 は一体化する。

b) 部会委員コメント対応

- ・ 表紙 凡例として黄色及び水色の網掛けの意味を記載すること。
- ・ 関連するコメントは、コメント番号を明記すること。
- ・ No.5 (本文前半) 詰替施設の有無により設計要求に違いがあることとして、検査方法が変わるなどの具体例をコメント対応方針の欄に追記すること。
- ・ No.7 (本文前半) 「安全設計」, 「中間貯蔵施設」等の読替は、「序文」から明記すること。
- ・ No.25 (本文後半) コメント対応方針について、伝熱検査に関する記載について「記録確認」として本文/表1で記載していること、「代表キャスクの直接確認」として本文/表1で記載していることを、それぞれ明記すること。
- ・ No.29 (本文後半) 未臨界検査にバスケットの健全性が維持されていること、バスケットの健全性維持の前提に内部ガス環境が維持されていること、これを間接的に確認するため蓋間圧力検査をすること、のようにロジックを丁寧に記載すること。
- ・ No.40 (附属書 E) JSME 規格で規定されている材料については、同規格で熱が考慮されているため、「熱」を本標準の劣化要因から外していることを丁寧に記載すること。
- ・ No.45 (附属書 G) コメント対応方針の欄について、G.3 にバスケットや中性子遮蔽材に限定している理由を追記すること。また、なお書きの記載は削除すること。
- ・ No.45 (附属書 G) コメント対応方針の欄について、先行確認の意図(設計データより評価すること)を明記するとともに、“先行確認”ではなく附属書の表題に合わせて“長期健全性確認”を明記すること、また設計データの内容について丁寧に記載すること。
- ・ No.46 (附属書 U (現行 S)) コメント対応方針の欄について、バスケット格子の内幅がキャスク温度に影響するものではないことを明確に記載すること。
(それ以外の対応方針については削除すること)
- ・ No.47 (解説) コメント対応方針の欄について、本文には通常時の検査内容で

あること、解説には異常が生じた場合の検査内容であることを明確に記載すること。

②標準委員会向け中間報告案について

- 白井幹事より、F4SC50-7 及び F4SC50-8 に基づき、標準委員会向け中間報告案について説明がなされた。
- 一部表現を見直しの上、専門部会に報告することが確認された。
- 主な意見は以下のとおり。
 - ・ F4SC50-8 の「8.標準に関する関係団体との調整の必要性の確認」において、『関連する標準』を『関連する規格』に修正すること。

(6) その他

①次回分科会予定

- 2019 年 10 月頃で調整 (場所：追而)

以 上